

一コマ・ストーリー部門優秀賞作者紹介

映介 えいすけ

1990年6月16日生まれ  
大阪府在住。大学でビジュアルデザインと立体造形を勉強しています

受賞の言葉

今まで漫画作品の投稿は全くの未経験だったので受賞を知った時はまさか自分が、と受賞の喜びよりも驚きの方が大きかったです。

この作品は「現代の若者たち」をテーマにしています。自分もその若者の一人であり、だからこそ表現出来るような客観性を意識して描きました。この作品を見てくださる方に何かしら伝わるものがあれば幸いです。

今回の受賞が絵を描き続ける為の意欲と活力になりました。これからも自分らしい表現で描いていきたいと思っています。ありがとうございました。



孫 承衍 Seung Yeon

1986年生まれ  
韓国在住の学生

受賞の言葉

アジアの文化を共有するという、このイラスト漫画賞の目的に触発されて応募しました。公けの場で自分の作品を発表するのは初めての機会なので、とても嬉しく、また誇りに感じます。アジアの国々にはそれぞれ固有の習慣があり、私はこれらの文化的背景にとっても興味があります。例えば日本には「侍」という有名な武の文化がありますが、韓国には「ソンビ」という高い志を持った学者・文人階層がいました。

また、昔の韓国では結婚は家同士の取り決めであり、女性が男性より年上だということもあったようです。成熟した女性が、年若い少年を夫として暮らすのはどんな風であったかと想像してみました。夫婦というより、姉弟のような関係だったのではないのでしょうか。

漫画を描くという作業を通じて、単に視覚的イメージや商品を読者に与えるのではなく、私の本当の気持ちや考えを多くの人と分かち合ってコミュニケーションしたいと思っています。



のまあ

名古屋生まれ 昭和58年から62年まで名古屋大学大学院文学研究科研究生  
名古屋文理短大の講師、新城大谷大学の教授を経て、現在は愛知県医師会の総合政策研究機構に在職中 専門は心理学 (Ph. D)  
マンガによる著書は「JUN<青春のエチュード>」日本文化科学社 (平成4年) など

受賞の言葉

このたびは、優秀賞という素晴らしい評価を与えていただき、誠にありがとうございました。審査員の皆様方に深く感謝致します。

本作品は、児童虐待と多重人格に関わる重いテーマを扱っています。読後に「やるせない」感情を持っていただくことを意図して描きました。もっとも、描いている方も気分は落ち込みます。できれば今後も、このようなテーマを基にマンガを描き続けたいと考えております。改めて、ありがとうございました。

